

ご協力いただける方、募集中です！



### ボランティアさん

こどもと遊ぶのが好きな方、事務局のお手伝いを一緒にして下さる方、お待ちしております。

小児待合室活動日 毎週月曜日・木曜日、第2土曜日・第4日曜日 午前11時～午後2時

### 後援会員さん・ご寄付

この団体の活動は、みなさまの会費とご寄付や助成金で行っています。  
ご理解とご協力をお願いいたします。

後援会員・・・ご入会頂くと「こどものちから通信」をお届けします。

◆個人3,000円/年 ◆団体(1口)10,000円/年

ご寄付・・・みなさまのあたたかいお気持ちは、  
きょうだいさんの笑顔を増やす活動に  
大切に活用させていただきます。

◆〈こどものちから〉の1年は、4月から翌年3月までです(^\_^)

### お振込先

郵便振替番号：00170-7-571697

口座名：特定非営利活動法人こどものちから

### お問い合わせ・発行元

「特定非営利活動法人こどものちから」事務局

〒136-0073 東京都江東区北砂 5-20-18-211

TEL：080-6867-6135

メールアドレス：[tarumifight@yahoo.co.jp](mailto:tarumifight@yahoo.co.jp)

※独立した事務局がございませんので、ご連絡は上記メールアドレスまでお願いいたします。

Facebook：<https://www.facebook.com/kodomonotikara>

ホームページ：<http://kodomonochikara.org/>

〈協力団体〉大原薬品工業株式会社  
株式会社ソフトクリエイトホールディングス  
クリフォードチャンス法律事務所



たくさんの個人の方々や企業の方々から頂きました。  
いつもお心に留めていただきありがとうございます。  
代表 井上るみ子

病院に連れて来られても病棟に入れないきょうだいさんに  
遊んでもらう活動をしています。

## メリークリスマス & ハッピーニューイヤー



2020年ねずみ年！！  
チーズの上でニッコニコ

〈スタッフ・さいとう はるみ 作〉  
No.18 2019.12月発行



## 藤田浩子さんのおはなし会

6月16日(日)午後2時～4時 中央区月島社会教育会館にて

いつものように“父の日”・・・にもかかわらず、藤田浩子さんの大きな懐にすっかり甘えて・・・  
 今回も、昔語りや伝承遊び・わらべ歌・手遊びなどを優しく・楽しく・温かく、時にはユーモアたっぷりに教えていただきました。2歳～7歳の6名のちびっちゃんを含み41名の参加。今回は男性のボランティアさんが多く、いつもと違った雰囲気の中でのおはなし会でした。  
 大人も子どもも、おはなしの世界にすっかり引き込まれ、終了時には「もっと聴きた～い!!」ちびっちゃんの声。  
 「実際に子ども達の楽しそうな様子に、私達もまた一緒に遊ぶことが出来て、楽しい時間でした。カラスとがえるは、自分も作って遊んでみます!」  
 「相手に合わせて色々と変えていけるのが、すごいと思いました。それがおはなし会を楽しむ秘訣なんですね。」  
 「藤田先生のお力と優しく見守って遊んでくださるスタッフの方々のおかげで、楽しい時間を過ごすことが出来ました。」  
 どんな状況でも、柔軟に楽しく対応していくことの大切さを学ばせて頂きました。次回は、2020年6月21日(日)父の日で～す(\*^▽^\*)



## 細胞芽細胞腫親の会「すくすく」勉強会保育

7月14日(日)午前2時～5時 国立がんセンター中央病院管理棟 会議室

網膜芽細胞腫の子どもを持つ家族の会が年一回開催する勉強会で、病児やきょうだいをお預かりしたのは5回目です。

16名のお子さんを24名でお預かりしました。

①参加する子ども達を含め関わる人が「参加して良かった」と思えるような時間。

②子どもがやりたいことを制限しないで、たっぷり楽しめる。

③心の中に自分を守ってくれる、ヒーローやヒロインが育まれる。

④お友だちができて、「自分はひとりじゃないんだ」

「逢えなくても繋がっている」って思える。

⑤日常生活に宝物があることに気がついてくれる。

⑥いつでも工夫次第で「楽しめるんだ」「楽しんで良いんだ」って思えるようになる。

「といいな」を詰め込んだ保育時間です。

後日、お子さんの検診に来院されたお母さんから

「自宅の玄関に貼った『すくすく』の写真を毎日のように見て、

遊んだ内容を楽しそうに話してくれるんですよ。」って、報告を頂きました。

うれしい(^\_^) うれしい(^\_^)



## 活動報告

小児待合室に立ち寄ってくれた、きょうだい・病児・家族に遊んでもらいました(´▽`)

- ◆ 6月16日(日)月島社会教育会館にて「藤田浩子さんのおはなし会」開催
- ◆ 6月30日(日)築地社会教育会館にて、網膜芽細胞腫家族の会「すくすく」勉強会保育準備
- ◆ 7月14日(日)がんセンター管理棟にて、網膜芽細胞腫家族の会「すくすく」勉強会保育
- ◆ 8月14日(水)～16日(金)「東京都子育て支援員研修」参加
- ◆ 8月14日(水)東京ドームにて(株)ジャックスさま、ご招待により「野球観戦」
- ◆ 8月31日(土)患者家族ギフトの会主催「子どもを亡くした親の会」協力
- ◆ 9月15日(日)きょうだい支援を広める会主催「きょうだい支援実践報告会」参加
- ◆ 9月28日(土)おもちゃ美術館・難病ネット主催「病児と遊びのおもちゃケア」参加
- ◆ 10月6日(日)がんセンター19階レストランMAHANAにて「病院でブネタリウム」開催
- ◆ 10月14日(月)がんセンター管理棟にて、しぶたね主催「シブサボミーティング」開催
- ◆ 10月22日(火)上智大学看護学部にて、「生と死の कोरोキウム」講演
- ◆ 10月30日(木)神奈川県平塚保健所にて、「慢性疾患児のきょうだい児への支援」講演
- ◆ 10月30日(水)がんセンター中央病院小児腫瘍科にて「ハロウィン」参加
- ◆ 10月31日(木)埼玉県立小児医療センターにて「ホラティイデー ｲｰﾀｰの会」参加
- ◆ 11月3日(日)子どもを亡くした親の会「稲村ヶ崎の会」参加
- ◆ 11月17日(日)協働ステーション中央にて「クリスマス工場準備室」開催
- ◆ 11月23日(土)がんセンター19階レストランMAHANAにて「クリスマス工場」開催
- ◆ 12月1日(日)COSMOS会主催「クリスマス会」サポート
- ◆ 12月2日(月)がんセンター中央病院12階談話室にて「花げし舎・中央法規出版」取材受
- ◆ 12月5日(木)東急シアターオーブにて、金森さま、ご招待により「ミュージカル」鑑賞
- ◆ 12月13日(金)通信18号発行
- ◆ 「しゅんさくさんの部屋」開催日：毎月1回、木曜日

## 今後の予定

- ◆ 12月14日(土)ハウスグランマにて、「病児・きょうだい支援ボランティア交流会」参加
- ◆ 12月23日(月)待合室にて「クリスマスおはなし会」開催
- ◆ 4月25日(土)がんセンター管理棟にて、網膜芽細胞腫家族の会「すくすく」勉強会保育
- ◆ 5月10日(日)がんセンター19階レストランMAHANAにて「子ども祭り」開催
- ◆ 6月19日(金)通信19号発行
- ◆ 6月21日(日)「藤田浩子さんのおはなし会」開催。

詳細は決定しだい、ご連絡いたします。



## お知らせ

活動をご理解・ご支援くださる企業や団体・個人のみなさまからたくさんのご寄付やご協力をいただきありがとうございます。



- ◆三菱食品株式会社さま  
昨年度から数回に渡り、カリンバを頂きました。  
子ども達も親御さんも優しい音色に癒やされました。
- ◆リトルドアさま  
「病気の子も達がいずれも楽しい時間を過ごせるように役立ててください。」との温かいメッセージと共に、レモネードスタンドの売上げを頂きました。
- ◆一般社団法人昭和会館さま  
ノートパソコンとプリンターの助成を頂きました。  
軽量のノートパソコン、持ち運びにとっても便利です。  
A3サイズまで印刷できるプリンターのおかげで、交流会等のお知らせポスターや待合室のかわら版(お店紹介)が見やすくなりました。
- ◆クリフォードチャンス法律事務所さま(イギリス本社と東京オフィスの皆さま)  
活動資金やハロウィンの衣装やお菓子等、多数頂きました。わくわく感満載です(^\_^)
- ◆難病のこども支援全国ネットワークさま  
子ども達に人気のリカちゃんを沢山頂きました。  
キラキラのりかちゃんを手にした子ども達の表情は、さらにキラキラ度を増しています。
- ◆森のライフスタイル研究所さま  
カリンバの中継を沢山頂きました。  
香りに敏感な子ども達にとって、檜の香りはホッとさせてくれる香りようです。
- ◆ケイ・インターナショナルスクール東京さま  
活動資金を頂きました。学校の年に一度の恒例行事で集められた、皆さまの社会貢献へのお気持ちを大切に活用させていただきます。
- ◆企業の皆さま・後援会員の皆さま・活動に関心を持ってくださった皆さま  
活動資金を頂きました。待合室活動や交流会イベント活動の運営費として活用させていただきます。

## しゅんさくさんの部屋



待合室の壁紙が、新しく貼り替えられました。  
きれいになって、なんだか広く感じます。  
月に一度の「しゅんさくさんの部屋」  
開催日は、待合室や小児病棟の案内板にてお知らせしています。  
「今日は『しゅんさくさん』が来る日だから、早く行けるようにしないと・・・」と、楽しみにしてくれるお子さんやタイミング良く参加できたお子さんは、笑顔いっぱいです。いつも作品自慢をしてくれます。  
今回は、羽にシールを貼って、背中に背負いました。  
身体の動きに合わせて、時折羽が揺れるのを肌で感じます。  
「揺れてるよね！ 揺れたでしょ！！」 笑顔でピョンピョン。  
いつの間にか汗だくの子も達でした。  
しゅんさくさんの指導で、ハサミが上手に使えるようになるお子さんもいます。  
遊びながらの学びと成長。素敵ですね(^\_^)



## 病院でプラネタリウム

10月6日(日)午後1時~午後3時 19階レストランMAHANAにて

今年は念願叶って、病院で初めてプラネタリウムを行いました！

16家族48名の参加がありました。

待合室活動を利用していただいているお友達だけではなく、ご家族が入院されていて、偶然カフェテリア・サンデーに立ち寄られたお子さんやご家族も参加してくださいました。

4mのドームを会場内に設置して、星つむぎの村代表の高橋真理子さんが「20分間の宇宙の旅」を3回案内してくれました。投影を開始して間もなく、ドーム内から「ワアッ！！」という歓声が聞こえてきました。

終わってドームから出てきた1人1人の表情は、とても穏やかでした。待ち時間を利用しての、ポップアップカード・地球ごま・星座カード・希望の星カード・ごぼう袋ロケット宇宙版・・・等々の

宇宙にまつわるワークショップを準備しました。

ポラさん作成の宇宙の当ても、ちびっ子達は楽しんでくれました。

レストラン隣の会議室では、ハンドトリートメントのほぐしのコーナーや地域ブランドのお菓子も並んでいて、ご当地自慢で盛り上がりました。

「楽しい一時を過ごすことが出来た。」「病院でプラネタリウムなんて感動。」「癒やされた。」

「広い宇宙で、皆同じ場所にへばりついている・・・の言葉に涙が。」等の感想をいただきました。

大人も子どももそれぞれに感動や癒やしや仲間を得た時間になりました。

このイベントは、一般社団法人星つむぎの村さま、公益社団法人キリン福祉財団さま、MAHANAさまや小児病棟の皆さま・ボランティアのご協力があったからこそ実施することが出来ました。

ご支援・ご協力、ありがとうございました。



## 東京ドーム野球観戦 8月14日(水) 東京ドーム



### プレイボール!!!

昨年に引き続き  
(株)ジャックスさまからお誘いを頂き、  
9家族41名、総勢43名で、  
日本ハムファイターズ対千葉ロッテマリーンズ戦を  
観戦しに行きました。

いつものベースランニングに加え  
「ベースボールキッズ」として試合開始のかけ声をかける  
大役を引き受けてくれるきょうだいもいました。  
ダンスに参加してくれるお友達もいて、  
病棟では逢えない笑顔に、感動でした。(。；)



## クリスマス工場

11月23日(土) 13:00~15:00  
国立がんセンター19階職員用レストランMAHANA

11家族29名の参加がありました。  
チーズドックやフライドポテト・  
いろんな味のプチシュークリーム・パンケーキ・  
みかんたっぷりのゼリーをほおぼりながら、  
2種類のクリスマスカードを作りました。

このカードは、待合室活動を通して知り合ったお友だちに贈ったり、  
クリスマスまでに待合室にやってくるお友達にプレゼントします。

今回は3人のハンドトリートメント担当さんが、  
親御さんのほくしのコーナーを作ってくれました。

「カード作り、とても楽しく出来た。」  
「ハンドトリートメントでは、アロマの香りに癒やされた。」

「いろいろな食べ物があって良かった。」  
「子ども達もいつになく一生懸命で、

今年も良い機会を作ってもらえて良かった。」

「入院中は、なかなか楽しみを見つけにくいので、  
このようなイベントのおかげで、子どもは待ち遠しそうにしていた。」

「初めての参加。子どもの明るい笑顔が沢山見られ楽しかった。」等、  
参加したお子さん・ご家族からの感想がありました。

今後もこのような企画の継続を望む内容が多かったです。

病院は、病気になった家族が元気になって、  
元の生活がおくられるようになるための場所です。けれど感想からは、  
「単に病気に向き合うだけでは、がんばりきれないよ〜。」

と言う声が聞こえてきました。ご支援・ご協力くださる

病棟の小川科長さんや荒井師長さん・MAHANAの店長さんやたくさんの方々のおかげです。深く感謝申し上げます。  
みんなのワクワクが、どうぞそのままたくさんのお友だちに届きますように。

そして、これからやってくる時間は、もっともっとすてきな時間になりますように祈りを込めて・・・



## 絵本紹介

静岡県立こども病院医学図書室  
塚田薫代

### なまえのないねこ

「ほくはねこ。なまえのないねこ。だれにもなまえをつけてもらったことがない」  
このコはひとりて街をあるきます。  
「ノラネコ、きたないねこ。あっちへ行け！」雨のなか、ベンチの下にうすくまる姿はせつないなあ〜。  
そこへやさしい声の主が現れます。  
「そうか、ほしかつたのは、なまえをよんでくれる人だったんだ」ラストシーンに誰でもホッとするでしょう。  
ねこの仕草や毛並の描き方まで秀逸と思ったら、描き手は『ネコツメのよる』の町田さんでした。



▲なまえのないねこ  
竹下文子文、町田尚子絵  
小峰書店2019



### だっこして

小さなタコのあかちゃんは、  
いつも「だっこして、だっこして！」とママにせがみます。  
でもだいじょうぶ！何だってタコですから、ママは8本の足で、  
おそうじしたり、電話したりしながらだっこしてくれます。(タコになりたい!)  
ある日、イルカの親子をみたあかちゃんタコはかながえました。  
ちょっぴり成長して大きくみえます。  
そしてラストがとびきりすてきです！

▲だっこして  
エクトル・シエラ文、村上康成絵  
佼成出版社2007

## 看護師の立場から提案 小林文香

### 「ネガティブ・ケイパビリティ」

常々、子ども達の持つエネルギーに圧倒されています。  
「こどものちから」という名前の由来も、私達には想像もつかないくらいの力、  
成長や回復や立ち上がる力が秘められているから、という理由でした。  
では、大人の持つ“ちから”、はいかがでしょうか？  
人生に立ち向かう時、どんな人も経験値が増え、様々な局面で考え、  
問題を解決する能力を鍛えられます。  
やがて共感力、寛容さや平常心を身につけていく・・・  
そんな大人の持つちからのうち、最近新しい概念に触れ必要だと感じたものに  
「ネガティブ・ケイパビリティ」という言葉があります。  
一見、難しい印象ですが「答えの出ない問題に耐える力」という意味です。  
ジリジリした、居心地の良い感触という状況・・・。  
日常では、例えば伝えた事がうまく理解されない。叱った後のバツの悪さ。  
分かち合えないケンカ後の気持ち・・・等、  
正解のない問題は、いくらでもあるかもしれません。  
合理主義の現代、とかく理解を求めがちですが  
「全ての物事が、解決できるものではない」という事を受け入れる能力は、  
大人である私達にも備わっているのではないのでしょうか？  
「これでいいのだ。」という、バカボンパパの言葉が思わず聞こえてきそうですね。